

編集後記

丸山眞男記念比較思想研究センターは、「丸山眞男文庫の発展的構想」として設立されたものです。丸山文庫の整理・調査など内容面全般に責任を負うだけでなく、講演会・読書会・講義・研究活動など教育研究センターとしての位置づけも与えられております。いくなれば、文庫の資料館的側面をめぐる役割とともに、文庫を基礎とした丸山および広く比較思想に関係する教育研究センターとして、そもそも構想されているわけです。したがって、『丸山センター報』の創刊は、そうした機能の基盤を固めるとともに、そのさらなる充実に寄与するものといえましょう。

本創刊号には、丸山文庫の創設から今日にいたるまでの、文庫および文庫準備委員会（丸山センターの前身）、そして丸山センターにかかわるさまざまな活動記録を、できるだけ網羅的に収録するよう努めました。文庫をめぐる東京女子大学のこれまでの歩みをひととおり整理し、資料的価値をもあわせもつものとして編集をすすめてまいりました。そのために大学の広報紙である『学報』に掲載された関係記事や、諸活動の事務的事項を担当してくださっている図書館および教育研究支援課の作成した講演会・資料展示等のパンフレットを、数多く再録させていただきました。再録をご許可くださった関係各位のご理解とご協力に、心よりの感謝を申しあげます（なお再録にあたりましては、ご本人からのお申し出も含めて、内容にかかわらない範囲での加筆修正・整序を加えたものがあります）。

また本号には、記念講演会の記録を二篇、掲載することができました。

第一回記念講演会の故隅谷三喜男元本学学長の講演記録と、第六回のアン・ドリュエー・パーシェイ教授の英文の講演原稿です。これによって本号の学術的価値が、いちだんと高められたものと思います。ただし隅谷元学長の講演録は、当日の講演テープをもとにして、あくまでも編集者の責任でまとめたものです。掲載を快くお許しいただいた夫人の隅谷優子様とパーシェイ教授には、あらためて深い感謝の意を捧げたいと思います。

さらに丸山文庫の松沢弘陽、平石直昭の両顧問には、学内外の多くの方々に関心を寄せられている「丸山眞男文庫所蔵図書・草稿資料類の整理作業の経緯と現状」についてご執筆いただきました。公開に向けての資料整理と目録の作成に、膨大な労力と時間がかかることは通例よくみられることですが、全体量のきわめて多い今回も例外ではありません。しかし、おそらく多くの方々にはその困難さが、なかなか伝わりにくいのではないかと思います。図書館をはじめとする関係者のご努力によって図書類の部分的公開がいよいよはじまりますが、ノート・草稿類等についてもきちんとした公開にするための努力を続けておりますので、どうぞいましばらくのご猶予とみなさまの暖かいご理解とをお願い申し上げます。

いずれにせよ、今後もこうした丸山センターにかかわる文庫情報をお伝えするとともに、諸活動の成果や所蔵資料類等のご紹介もできればと思っております。

最後に、丸山眞男にみられる一般市民や未知の人々に対する開かれた姿

勢は、「無名のものへの愛着」に裏づけられたものといえましょう。丸山文庫ならびに丸山センターの活動が、学内外の多くの人たちに、同様の「愛着」をもたう開かれたものであることを、そして『丸山センター報』がそのささやかな一助になることを願っております。

(黒沢文貴)

東京女子大学比較文化研究所附置丸山眞男記念
比較思想研究センター報告 創刊号

二〇〇五年三月二五日発行

編集 黒沢文貴

発行 東京女子大学

〒167-8585 東京都杉並区善福寺二一六一

印刷 丸井工芸社